

1 単元 武道（剣道）

2 目標

- 相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開することができる。 (運動の技能)
- 相手を尊重し、運動に積極的に取り組もうとしている。 (運動への関心・意欲・態度)
- 剣道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方などを理解している。 (運動についての知識・理解)
- 課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 (運動についての思考・判断)

3 指導にあたって

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領の第1学年「F 武道」を通して学習する内容である。武道は、武技、武術などから発生した我が国固有の文化であり、相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、相手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

武道は、中学校で初めて学習する内容であるため、基本動作と基本となる技を確実に身に付け、その技を用いて、相手の動きの変化に対応した攻防ができるようにすることが求められる。

本単元では、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。また、武道の学習に積極的に取り組み、伝統的な行動の仕方を守ることなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、代表される伝統的な考え方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにすることが大切である。

(2) 生徒の実態（第1学年\*・\*組 \*人）

平成\*年\*月\*日実施

①あなたは剣道の学習に興味がありますか。 ある * どちらでもない * ない *
②相手の面を打つには、どのような攻め方をすればよいか知っていますか。 はい * いいえ *
③相手の胴を打つには、どのような攻め方をすればよいか知っていますか。 はい * いいえ *
④仲間と協力し合って学習することはできますか。 はい * いいえ *
⑤課題解決のために工夫して練習することはできますか。 はい * いいえ *

剣道の学習には興味をもっているものの、攻防の仕方については、ほとんど知識がないことが分かった。また、これまでの学習から、グループ活動やペア学習を通して、互いの良いところを見付けたり、改善点を指摘したり、自己やグループの課題を解決できるようになってきていると考える。しかし、実際には、活動の様子や学習カードを見ると、具体的な課題を設定したり、取り組み方を工夫したりすることについては、十分でないことが分かった。この結果から、グループ活動やペア活動など、他者と関わる活動を通して、基本的な技や試合を行う技能を身に付けさせたい。

(3) 指導観

本時の学習は、「面一胴、胴抜き胴を活用して、攻防交代型の試合の中で有効打突をとることができる。」ことを目標としている。攻防交代型の試合の中で、協同タイムを用いたグループ活動を行う。試合では、攻撃、防御、評価者をそれぞれが交代して行う。判定のポイントを理解した上で試合を行い、勝敗と判定理由を伝える。試合を振り返り、良い点や改善点などを伝え合うことで、これまで学習した面一胴、面抜き胴を活用し、有効打突をとることができる技能の習得をたい。

4 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
①剣道の特性に興味・関心を持ち、◎進んで運動を楽しもうとする。 ②相手を尊重しながら◎常に協力して学習に取り組もうとする。 ③伝統的な行動様式を◎進んで守ろうとする。 ④場や用具の安全を確かめ、運動をする上で自分や仲間の健康や安全に◎常に留意している。	①仲間と協力する場面で、分担した役割に応じながら協力の仕方を見付け、◎進んで整理している。 ②基本動作や基本となる技を身に付けるための運動の行い方のポイントを、◎常に分析している。	①基本となる技について構え→打突→残心の動きで◎しっかりと有効打突を決めることができる。 ②◎常に相手の動きに応じて基本動作のポイントを意識しながら練習ができる。 ③打ったり受けたりするなど◎積極的に攻防をすることができる。	①剣道の成り立ちや特性、伝統的な考え方について◎しっかりと学習カードに記入している。 ②剣道によって高められる体力について、◎常に具体的な運動例を挙げて学習カードに書き出している。

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価計画（9時間扱い）

段階	学習のねらい・活動	評価計画			
		関	思	技	知
はじめ	<p>○剣道の特性や学習のねらい，計画，内容を理解する。 ○剣道の学習準備をする。</p>				
1時間	<p>1 剣道のDVD映像を見ながら剣道の特性について理解する。 2 学習のねらい，学習の進め方について理解する。 3 学習カードの活用法について確認する。 4 グループを編制し，その中でペアをつくる。 5 体ほぐしの運動と武道的素養を含む運動を行う。 6 基本動作の構えを確認する。 7 今後の学習の見通しをもつ。</p>	③			①
なか①	<p>ねらい1 ○相手の動きに応じた基本動作を身に付け，礼法を大切にして最善を尽くし，基本の打ち方がスムーズにできるようにする。</p>	③		①	
2時間	<p>1 集合・整列・健康観察をする。 2 本時のめあてと学習内容の確認をする。 3 体ほぐしの運動の主旨を生かし，武道的素養を含んだ運動を行う。 4 基本動作を身に付け，基本の打ち方について確認する。 ①立会前後の作法，基本動作，打突部と打突部位の確認 ②正面打ち，小手打ち，胴打ち，小手面打ち，払い面打ちの確認 ③基本打ちの判定試合 ・リーダーが中心となって学習を進める。 ・ペア同士で確認し合いながら学習を進める。 6 整理運動を行う。 7 本時のまとめを行い，学んだことや仲間の良かった点について確認する。</p>	②		①	
なか②	<p>ねらい2 ○基本打突やしかけ技の基本となる技，応じ技の基本となる技を習得するとともに，攻防交代型の試合で，相手との攻防を楽しむことができるようにする。</p>	②		②	
4時間	<p>1 集合・整列・健康観察をする。 2 本時のめあてと学習内容の確認をする。 3 体ほぐしの運動の主旨を生かし，武道的素養を含んだ運動を行う。 4 対人での基本動作の練習（打つ⇒受ける）をする。 5 グループ（4人組）でしかけ技の基本となる技と応じ技の基本となる技の練習をする。 ①面打ち，胴打ち，面－胴打ち，面抜き胴 ②小手打ち，小手一面打ち 6 攻防交代型の試合をする。 7 整理運動を行う。 8 本時のまとめをし，学んだことや仲間の良かった点について確認する。</p>	①		②	
本時（2/4）			①	③	
					①
おわり	<p>○学習した技を使用して，相手との攻防を楽しむ学習のまとめをする。</p>	④	②		
2時間	<p>1 集合・整列・準備運動・健康観察をする。 2 本時のめあてと学習内容の確認をする。 3 自由練習をする。 4 グループ対抗戦を行う。 5 整理運動を行う。 6 学習を振り返り，自分自身が向上した点についてグループごとに話し合う。 7 学習の楽しさ，学習の学び方，技能等の観点で総括評価をする。 8 仲間の良かった点について発表し合う。 9 剣道を学んだことによる今後の生活の仕方について確認する。</p>			②	②

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- 相手の動きに応じて基本動作のポイントを意識しながら練習ができる。 (運動の技能)
- 剣道の特性に興味・関心をもち，運動を楽しもうとする。 (運動への関心・意欲態度)

(2) 準備・資料

学習カード，デジタイマー，簡易竹刀，防具，ヘルメット，ゴーグル，タブレット，学習資料

(3) 展開（5/9）

	学習活動・内容	指導上の留意点・評価
はじめ	<p>1 集合し，整列する。 ・正座 黙想 座礼</p>	<p>・垂れと胴を着装して集合整列する。 ・集合後は正座をして，座礼であいさつをするように促す。</p>
め	<p>2 あいさつ・健康観察をする。</p>	

3分	<p>3 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>面一胴，面抜き胴を身に付け，攻防交代型の試合を楽しもう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学の生徒がいた場合には，状況に応じた活動ができるようにする。</li> <li>・本時のめあてを説明し，学習の見通しがもてるようにする。</li> </ul>
<p>な か 40分</p>	<p>4 ウォーミングアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で行う (体ほぐしの運動の主旨を生かした運動) (歩み足，送り足の練習)</li> </ul> <p>5 対人での基本動作の練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとのペアで行う。 (面の打ち方と受け方) (胴の打ち方と受け方)</li> </ul> <p>6 攻防交代型の試合をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">◎ (評価者)</p> <p style="text-align: center;">○ (元立ち)    ×    ● (掛かり手)</p> <p style="text-align: center;">◎</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">協同タイム</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判定ポイントをしっかりと捉えて，勝敗の判定ができるようにする。また，判定の理由を伝える。</li> <li>・全試合終了後，試合を振り返り，互いに良い点や改善点を伝え合う。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動の主旨を生かした運動は，心をリラックスさせながら行うようにする。</li> <li>・歩み足，送り足の練習では，グループやペアごと大きな声で元気よく行うように促す。</li> <li>・頭部にフェイスタオル，安全保護具用のゴムフレームゴーグルを装着する。</li> <li>・正しい足さばきからスムーズに踏み込むように促す。</li> <li>・面，胴，面一胴の発声を同時に行うようにし，発声は大きい声で行うように促す。</li> <li>・ペアごとに練習し，教え合いながら行うようにする。</li> <li>・試合の仕方と判定ポイントについて，GTに師範してもらい，教師が説明を入れながら理解できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">運営と判定ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試合時間は30秒で行う。</li> <li>・勝敗の決しない場合は引けとする。</li> <li>・攻撃(掛かり手)側は面と胴を打突できる。防御(元立ち)側は面一胴のみ有効で，それ以外は相手の打突を防御する。</li> <li>・攻撃と防御を1分で入れ替える。</li> <li>・4人総当たりで，6試合行う。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">判定のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声を出しているか。</li> <li>・打突部位をもの打ちで打突しているか。</li> <li>・打突後，残心をとっているか。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人の中で試合者，審判の順番を確認し，安全を確認しながら行うようにする。判定のポイントを意識するように促す。</li> <li>◎面一胴，面抜き胴を身に付け，攻防交代型の攻防ができる。(技能/観察・学習カード)</li> </ul>
<p>ま と め 7分</p>	<p>8 整理運動をする。</p> <p>9 本時の反省を行い，次時への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みについて振り返る。</li> <li>・仲間の良い点についても発表し合う。</li> </ul> <p>10 整列する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正座，黙想，座礼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使った部位を意識して伸ばすように促す。</li> <li>・学習カードで視点を絞り，短時間で自己評価をするように促す。</li> <li>・本時の取り組みについて自己評価で発表させるとともに，仲間の取り組みの良かった点についても発表するようにする。</li> <li>・心静かに礼をさせ，仲間や場に対しての感謝の念をもたせて授業を終われるようにする。</li> </ul>